

1. 基調講演 今治からの挑戦～サッカーを通じた地方創生の可能性と白馬への提言



岡田 武史さん

株式会社今治 夢スポーツ 代表取締役会長 (CEO)、日本サッカー協会副会長
一般財団法人 白馬インターナショナルスクール設立準備財団 名誉顧問

大阪府立天王寺高等学校、早稲田大学でサッカー部に所属。同大学卒業後、古河電気工業に入社しサッカー日本代表に選出。引退後は、クラブサッカーチームコーチを務め、1997年に日本代表監督となり史上初のW杯本選出場を実現。その後、Jリーグでのチーム監督を経て、2007年から再び日本代表監督を務め、10年のW杯南アフリカ大会でチームをベスト16に導く。中国サッカー・スーパーリーグ、杭州緑城の監督を経て、14年11月四国リーグFC今治のオーナーに就任。日本サッカー界の「育成改革」、そして「地方創生」に情熱を注いでいる。



2. プレゼンテーション 白馬インターナショナルスクール設立構想



草本 朋子

一般財団法人 白馬インターナショナルスクール設立準備財団 代表理事
白馬高校グローバルコーディネーター



東京大学経済学部卒、米系投資銀行モルガン・スタンレー勤務後、カリフォルニア大学バークレー校の大学院で経営学修士号 (MBA) を取得。ゴールドマン・サックス東京支店、NY本社で投資業務に従事した後、長女の出産を機に引退、3児の母となる。白馬の大自然に魅了され、子育てのため2009年より白馬在住。

世界でも有数の自然環境を誇るこの白馬の地に、英語で教育を行い全世界から生徒を募集する学校を設立すれば、地元の学校との連携による教育振興、海外からの生徒受け入れによる観光促進、先進的な教育に起因した移住定住の促進ひいては地方創生の推進など、ポジティブな変化を引き起こすカタルストかつ強力なインフラとなり得るのではないのでしょうか。インターナショナルスクール設立の意味とその可能性について語ります。

3. パネルディスカッション これからのグローバル教育と白馬の教育の可能性



岡田 武史さん

株式会社今治 夢スポーツ 代表取締役会長
日本サッカー協会副会長
白馬インターナショナルスクール設立準備財団 名誉顧問



坪谷 ニュウエル 郁子さん

文部科学省 教育再生実行アドバイザー
国際バカロレア 日本大使
東京インターナショナルスクール 理事長

西イリノイ大学修了、早稲田大学卒。1995年東京インターナショナルスクールを設立。2012年、国際バカロレア機構アジア太平洋地区の委員に就任し、文部科学省とともに国際バカロレアの普及に精力的に取り組む。2017年より国際バカロレア日本大使。一般財団法人世界で生きる教育推進支援財団代表理事、UWC日本協会理事、高知県教育委員会グローバル教育推進委員会委員など多数の要職を務める。著書『世界で生きるチカラ - 国際バカロレアが子どもたちを強くする -』(ダイヤモンド社) など。



伊藤 学司さん

文部科学省 初等中等教育局 財務課長
前長野県教育長

早稲田大学卒業後、文部省(現文部科学省)入省。文部科学省の各部署での勤務に加え、岩手県教育委員会学校教育課長、広島県教育委員会教育次長などを歴任。2013年度から3年間、長野県教育委員会教育長を務め、白馬高校存続にも尽力する。教育長退任後、内閣官房教育再生実行会議担当室参事官、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長を経て、2017年4月より現職。両親が長野県高遠町(現伊那市)の出身。



服部 知子さん

ピアノ講師 はっとりともこピアノ音楽教室主宰

白馬村出身。白馬北小学校、白馬中学校、長野県大町高等学校を経て国立音楽大学(音楽教育学科・リトミック専修)卒業。NYジュリアード音楽院リトミック夏期講座等で研鑽を積んだ後、ヤマハ音楽教室講師を経て、故郷の白馬村にてピアノ教室を主宰。丁寧で工夫を凝らした指導に定評がある。音楽の指導、演奏活動、そして小学校3年生のお嬢さんの子育てに日々奮闘している。



丸山 俊郎さん

白馬八方温泉 しろうま荘 支配人
白馬インターナショナルスクール
設立準備財団 理事

日本大学商学部卒業。東京ディズニーランドジャングルクルーズ船長、オーストラリアワーキングホリデー、六本木ヒルズ・ゴールドマンサックス専属ジムトレーナー等の経験を経て、家業であるしろうま荘支配人に就任。2016年ラグジュアリー・トラベル・ガイド・アワードにおいてホテル支配人世界一に選ばれる(世界第1号)。白馬高校の観光英語非常勤特別講師、トラベルジャーナルコラムニストとしても活躍。